1617号 毎月1回発行 2002年(平成14年)

発行●那覇市 編集●秘書広報課 〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号 ☎867-0111 ●印刷(協)丸正印刷

市の人口と世帯	
*()内はうち外国人 2002 (平成 14)年 4月末現在	
総人口	306,273(1,707)
男	148,181(874)
女	158,092(833)
世帯数	118,614(949)
本 庁	85,645
直和志	105,953
首 里	58,577
小禄	54,391



(4面・5面) (6面)ふれあい看護体験 那覇市ロシア訪問団レポー

(3面)第2回那覇ハーリー (2面)市政功労者4名を表彰

市役所には、さらなるサービス向上のため「A BCDE運動」を提案しますと話す坂巻さん

交流を楽しみました。 員たちはイベント会場や那覇市の の物産バザー ルやステー ジコンサ 川へ向け出帆しました。 せ、南南西の風を帆いっぱいに受 街角で市民レベルの和やかな国際 けて、第1レー スのゴー ル韓国・仁 沖縄から参加した訓練生たちを乗 ントが催され、約500人の乗組 5月1日午後2時、1隻の帆船は ト、帆船の一般公開などのイベ

心を飲み、最後にご飯物を食べる。

本土では、つ

まみを食べながら

これまで以上に、

「ABCDE」運動を提案します。

沖縄では「

食して飲なり」。

いて字のごとく飲食。沖縄では、

心て飲なり。

しっかり食べてそ

వ్త

ちゃんと、出来るまで、笑顔でや

当たり前のことを、馬鹿にせず、

M 4

素を

2002世界帆船フェスティバル

トとして SEIL

KORIA

坂巻

(日本航空沖縄支店長

兼ジェイセールス沖縄社長)

韓国世界帆船大会」のプレイベン

ルドカップを記念した われるサッカー・ワー 本と韓国の共催で行な

那覇軍港で開催されました。 in沖縄」が5月8日から11日まで、

同帆船レースは韓国が日本の沖

私の名前は東

窙ですが、「よし」

りいません。 で 思っていました つつ、また多くの人と泡盛を飲み 月の歴史的イベ 沖縄で勤務するのではないのかと です。比嘉さん の漢字を書ける人は本土ではあま **有意義にすごし** ながら語らい、 ですから。名前に導かれ、いつか - 直前に着任い 沖縄の自然、 今日は、この しております。 **)紙面をお借りして** 歴史、文化にふれ たしました。 この2年間楽しく が、2000年7 も、沖縄では常識 ントであるサミッ 嘉数さんの「嘉」 は進化していく。 ませる。市民の役割も大きい。 旅行」から「旅交」へと「旅」

今回、沖縄・那覇市が第1レースの

市民に華麗な姿を披露しました。

5か国1隻の帆船が次々と入港し、 縄と横浜の協力で実施したもので、

97年に大阪市築港百周年記念イ スタート地に選ばれたのは、19

模範となって) で更に愛される市 い感じ。「継続は力なり」の言葉通 所を訪ねても、明るい雰囲気でい 市幹部・職員一体となってサービ ス向上活動に取り組んでおられま 役所にして頂きたいものです。 翁長市長がお客様第一主義を唱え、 トップダウン (まずは幹部が 成果は、徐々に見られ、市役 「ABCDE」運動を。

ちは帆船の大きさに可愛い喚声を

の幼稚園児を船内に招待、園児た

私の独り言」

「かりゆしウェアー」。

あげていました。

寄港中の3日間、岸壁では韓国

たらやめられな

์เรื่

は寒い時もある。 けれど、 一度着

かりゆしウェアーを着用し、トロ

県知事・市

以下官民あげて、

ヒカル沖縄をアピール。会議室で

日午前に入港したロシアの帆船パ

高く評価されてのことでした。8

3隻の帆船を受け入れた際の沖縄

ベント SAIL OSAKA」で

のホスピタリティー 豊かな歓迎が

ラダ号は、さっそく午後には市内

もてなしの心が観光客の心をなご の「肝ぐくる」が重要。温かいお 青い空」。更には、「うちなんちゅ」 ないみたい。 で見かけるような酔っぱらいは少 れから泡盛を仲間と楽しむ。本土 沖縄の観光の目玉は「青い海・ 「旅行」から「旅交」へ。

1947年(昭和22年)生まれ。 福岡市出身。入社後、神戸、福岡、東 京、大阪、香港等で勤務。 2000年7月に沖縄支店に着任。 同年10月(株)ジェイセールス沖縄 (JAL JTA RAC, JALPAKJALZI-"J-J・TAP等の座席、商品を販売)を立 上げ、同社社長に就任。(財)沖縄観 光コンベンションビューローの理事と して沖縄観光の発展に取り組み中。